

HANSS ACOUSTICS T-20/UNV2

¥460,000 (税別)

*トーンアームレスのT-20は¥420,000 (税別)



SPEC

【T-20】●駆動方式:シリコンベルトドライブ3本●回転数:33 1/3rpm、45rpmスイッチ切り換え●電源:AC100V 50/60 Hz●質量:5kg (ターンテーブル)、0.2kg (ベアリング)、2.0kg (モーター)、12kg (シャーシ)、SC-10コントローラー (1.2kg)

【HA-UNV2】●全長:305mm●実効長:228mm (回転部中心～針先)●有効長:212mm (回転部中心～ターンテーブル中心)●針圧調整範囲:0～3g (直読)●内部配線:6N-OFCハイブリッド構造●適応カートリッジ:19～28g (ヘッドシェル含む)●取り扱い:(有)オーディオファレンスインク

プッタの安定した回転に重きを置き 徹底した振動対策を施したシリーズ入門機

Text by
石原 俊
Shun Ishihara

● 本機の特徴
三本のシリコンベルトを介して
アルミニウム製プッターを回転

ハンス・アコースティックスはオーディオ王国、デンマークに本拠を置くレコードプレーヤーメーカーである。本機は同社のエントリークラスのモデルで、アクリルとアルミニウムを主要素材とするスケルトン構造が採られている。シャーシは一枚の4mm厚アルミニウム板と20mm厚のアクリル板のサンドイッチ構造で、3点支持される。

● 音質レポート
清潔な音場を音像が飛び回る
豪快かつ繊細なウェルバランス

本機にはポールスター製のPS・UNV2と同等のトーンアームが付属していたので、その状態で試聴を行った。爽やかな音である。伸びやかな音でもある。本機は付属のスタビライザーを取りつけて運用するのが「ルール」だが、デイスクを重量で抑え込んだような「音の詰まり」はまったくなく、羽毛のように軽い音像が清潔な音場のなかを自由闊達に飛び回っているような印象を受ける。エネルギーバランスは安定的なピラミッド型だが、低音の動きが重くなるようなことはなく、量感と運動性能が高度なレベルで両立している。

● 組み合わせレポート
それぞれに聴き味の異なる
表現とディテールが得られる

MP500とE・200の組み合わせでは分解能に重心のなかった明晰な表現が得られていたのに対して、カートリッジをAT33PTG/IIに変更するとスケール感に軸足を置いたようなサウンドが得られた。低音の吹き出し感が強まると共に、サウンドステージがさらに大きくなったのだ。それでいてディテールの繊細さはきちんと保たれている。AT33PTG/IIのままフォノイコライザーをTRV・EQ4SEに変更すると、より繊細な聴き味が得られた。それでいてスケール感はいささかも狭まっていない。この組み合わせはなかなか思いつかないかもしれないが、実際に試すと絶妙なサウンドが得られる。機会があったらトライしていただきたい。

独立した駆動部は、シャーシの3カ所の凹部分にセッティングすることが可能だ。駆動部は別筐体のコントロール部から電源を供給される。コントロール部は回転数の切り換えと微調整ができる。シャーシには精密な回転計が内蔵されており、回転数を限りなく正確にすることも不可能ではない。駆動部のACシンクロナスモーターによる動力は、3本のシリコンベルトを介してプッターを回転させる。プッターはアナライズ仕上げを施されたアルミニウム製で、5・2kgの質量をもつ。これはメタル・ベアリングの上に載っているが、マグネットの反発作用によって浮いている。

ジャズは分解能が素晴らしく、プラス入りのクイントラクラスの演奏でも各楽器が鮮明に描かれる。とくにリズムセクションの動きは明瞭で、自分の耳が良くなったような感覚を楽しめる。ヴォーカルは清楚な表現を基調としているが、過剰に節食したダイエット美人というほどではない。クラシックはアナログらしい豪快さと、現代的な繊細さの融合したウェルバランスな表現を味わえた。



AUDIO-TECHNICA
AT33PTG II

NAGAOKA
MP-500

LUXMAN
E-200

TRIODE
TRV-EQ4SE

● 開発者より

共振や振動を極力排除する仕様

T-20はアルミニウム板2枚の間にアクリル板をサンドイッチした、振動の減衰・発散に高い効果を発揮する構造のシャーシを採用しています。また、ソリッドアルミから削り出された重量バランスに優れたプッターを搭載し、このプッターをスムーズに回転させるためのベアリングとしてマグネットフロート方式を採用しています。これにより軸受部とベアリングの接触抵抗を最小化することで、シャーシからの振動伝搬を大幅に抑制しています。また、本体を支える3本の支柱にも同様のマグネットサスペンション構造が組み込まれおり、外部共振及びターンテーブルの回転振動を減衰する構造となっています。

(ハンス・アコースティックス代表 チャールズ・ハン氏)



ベアリング形状の半球型接地部とアルミ製ケースによる脚部は3点支持構造を採用

モーターは独立型で、3本のシリコンベルトによる脚部は3点支持構造を採用

エレベーション機能/実効長メモリつきアームマウントにより、容易に調整が可能